

大量破壊兵器なかった

イラク戦大義否定

【ワシントン6日西村卓也】イラクの大量破壊兵器捜索を担当してきた米調査団のドルフラー団長は6日、米議会に対し、二〇〇三年のイラク戦争開戦時に大量破壊兵器は存在せず、開発する具体的な計画もなかったと、最終報告書を出した。イラク戦争の根拠としてきた大量破壊兵器の不在が公式に証明されたことで、米シニ政権の主張する戦争の正当性に批判が集まるのは必至だ。

報告書は二一九一年「戦争以降の経済制裁により、説明した。ドルフラー団長は6日、上院軍事委員会で「イラクに増み切った。報告書」公式に認めたもので、この武装解除に尽きないこの内容は、武力行使の大きな論拠として閉塞が存在しなかったと、報告書は認めた。報告書は「大量破壊兵器の開発は、イラクが安全に否定された。フセインは兵器の部品を隠す能力があった」と述べた。

企画展

戦後80年

戦争を伝える

業務整理統合状況

日本海新聞設立(十月)

ロシアのウクライナ侵攻をめぐる偽情報が飛び交っている。どんな手法で作成されたのか。旧ソ連圏で広く使われるSNS(交流サイト)テレグラムを使った主なフェイクニュースを探り出し分析した。(1面参照)

ロシアのフェイクはSNSでどう広がるのか

報道の軌跡

一九九一年以降、核実験は中止された。一九九二年に生じた核実験は、核実験能力は衰退した。一九九二年に生じた核実験は、核実験能力は衰退した。

2025年9月6日(土)
~12月21日(日)

会場 ニュースパーク(日本新聞博物館)2階企画展示室
 開館時間 午前10時から午後5時(入館は午後4時30分まで)
 休館日 月曜日(祝日・振替休日の場合は次の平日)
 入館料 一般400円・大学生300円・高校生200円・中学生以下無料
 主催 ニュースパーク(日本新聞博物館)
 後援 神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、かながわ人づくり推進ネットワーク



戦争を伝える

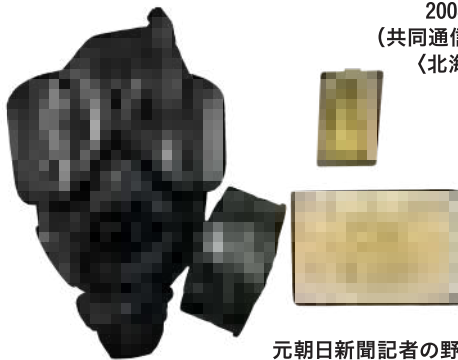
戦後80年

企画展



ミッドウェー海戦の戦況を伝えた東京日日新聞、読売新聞、朝日新聞(いずれも1942年6月11日)

戦後80年。戦争体験を直接聞く機会は極めて少なくなりました。新聞には記憶と記録の継承に力を入れた連載・企画が多くみられます。戦時下の新聞は、真実を伝える使命を果たすことができず、戦意高揚の一端を担いました。戦後はその反省を踏まえ、体験者や遺族らの証言を通じて戦争の実相に迫り、世界で起きている戦争を伝え、平和について考える機会を提供してきました。今世界で起きている戦争・紛争では、SNSや生成AIが情報戦の武器として使われ、偽情報・誤情報が、あたかも真実であるかのように出回っています。正確な情報を見極めることができますますます大切になっています。本展を通じて、戦争を伝える新聞・ジャーナリズムの役割を考える機会になれば幸いです。



元朝日新聞記者の野嶋剛氏が、イラク戦争で米海兵隊に従軍したときに米軍から支給された防毒マスクと使用マニュアル

米調査団最終報告

大量破壊兵器なかった

イラク戦大義否定

「イラクに大量破壊兵器はなかった」という米調査団の最終報告が、イラク戦争の大義を否定する。報告書は、イラクが大量破壊兵器を開発していたという主張を否定し、イラク戦争の正当性を揺るがす。報告書は、イラクが大量破壊兵器を開発していたという主張を否定し、イラク戦争の正当性を揺るがす。報告書は、イラクが大量破壊兵器を開発していたという主張を否定し、イラク戦争の正当性を揺るがす。

北海道新聞 2004年10月7日 夕刊 (共同通信配信記事含む) <北海道新聞社提供>

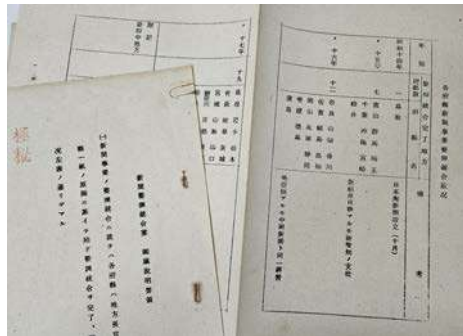
報告書骨子
「イラク戦争期間中、イラクは大量破壊兵器を開発していた」という主張を否定し、イラク戦争の大義を否定する。報告書は、イラクが大量破壊兵器を開発していたという主張を否定し、イラク戦争の正当性を揺るがす。

- <章構成>
- I 戦後80年 次世代への継承と課題
 - II 戦中、戦後の報道にみる新聞の役割
 - III 世界の戦争・争いはどう報じられたか
 - IV SNS時代の戦争報道

毎日新聞 1965年2月1日 朝刊



新聞整理統合案 閣議説明要領(1942年)



日本経済新聞 2022年4月8日 朝刊



〒231-8311
 神奈川県横浜市中区日本大通1-1
 横浜情報文化センター
 TEL:045-661-2040 FAX:045-661-2029
 <アクセス>
 みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口直結
 JR根岸線・横浜市営地下鉄「関内駅」徒歩10分
 横浜市営バス、神奈川中央交通「日本大通り駅」徒歩1分
 車で首都高速「横浜公園出口」から約3分



<https://newspark.jp>

